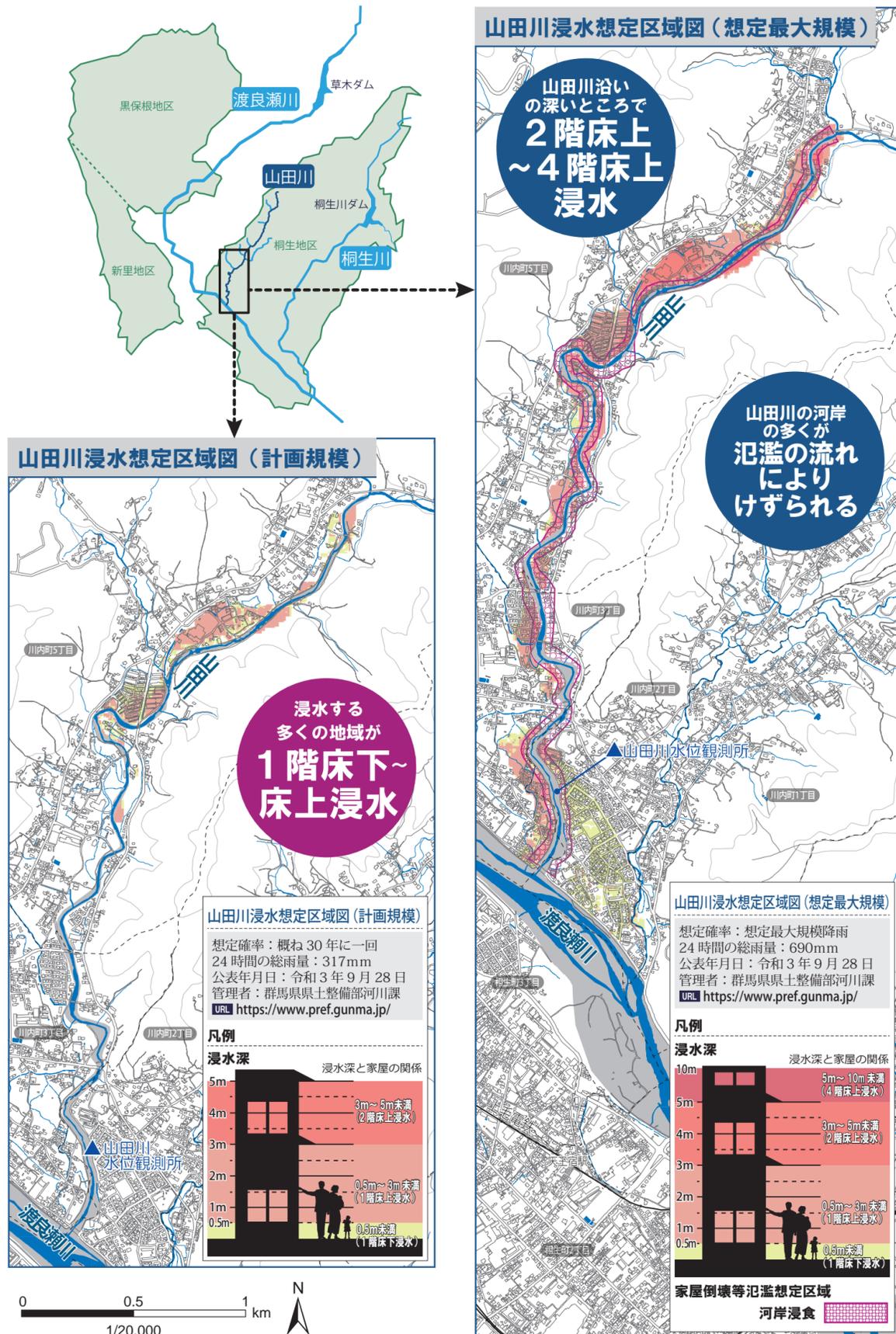


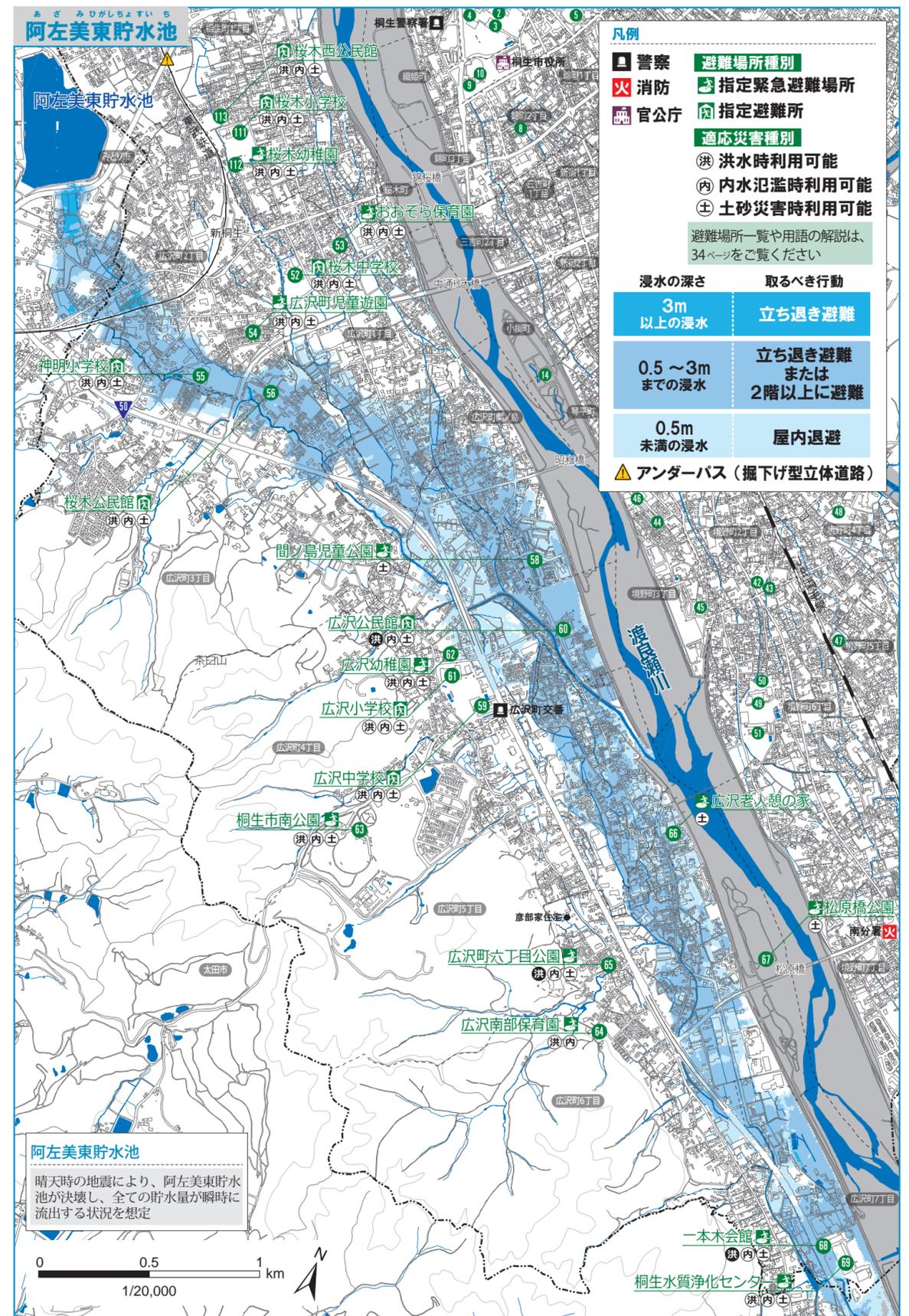
この計算結果は1つのシナリオに過ぎません

マップで示したものはあくまで1つのシナリオです。色がついていない場所では災害が起こらないということではありません。



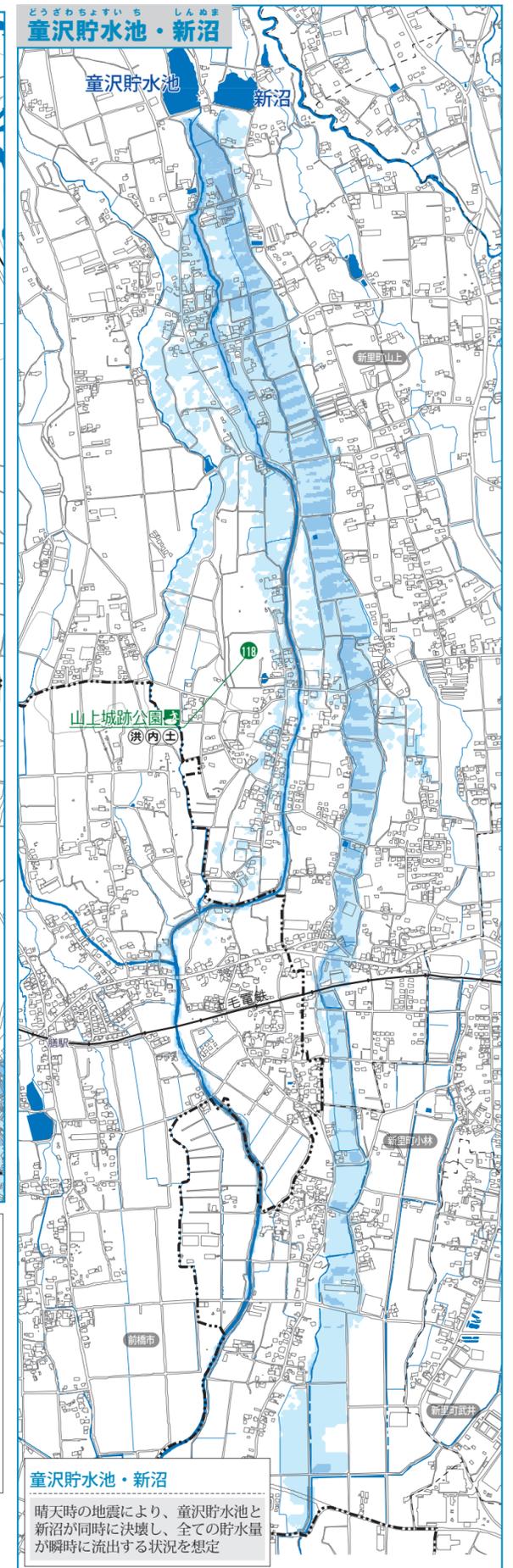
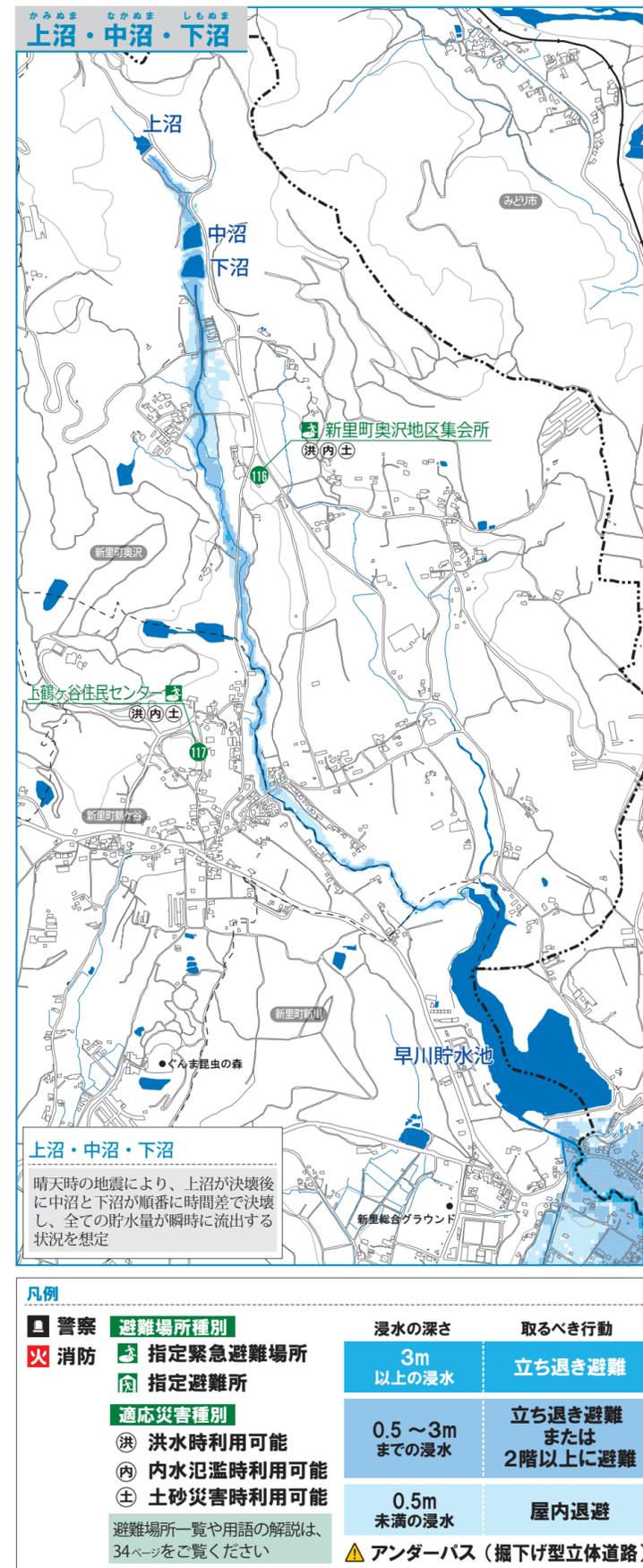
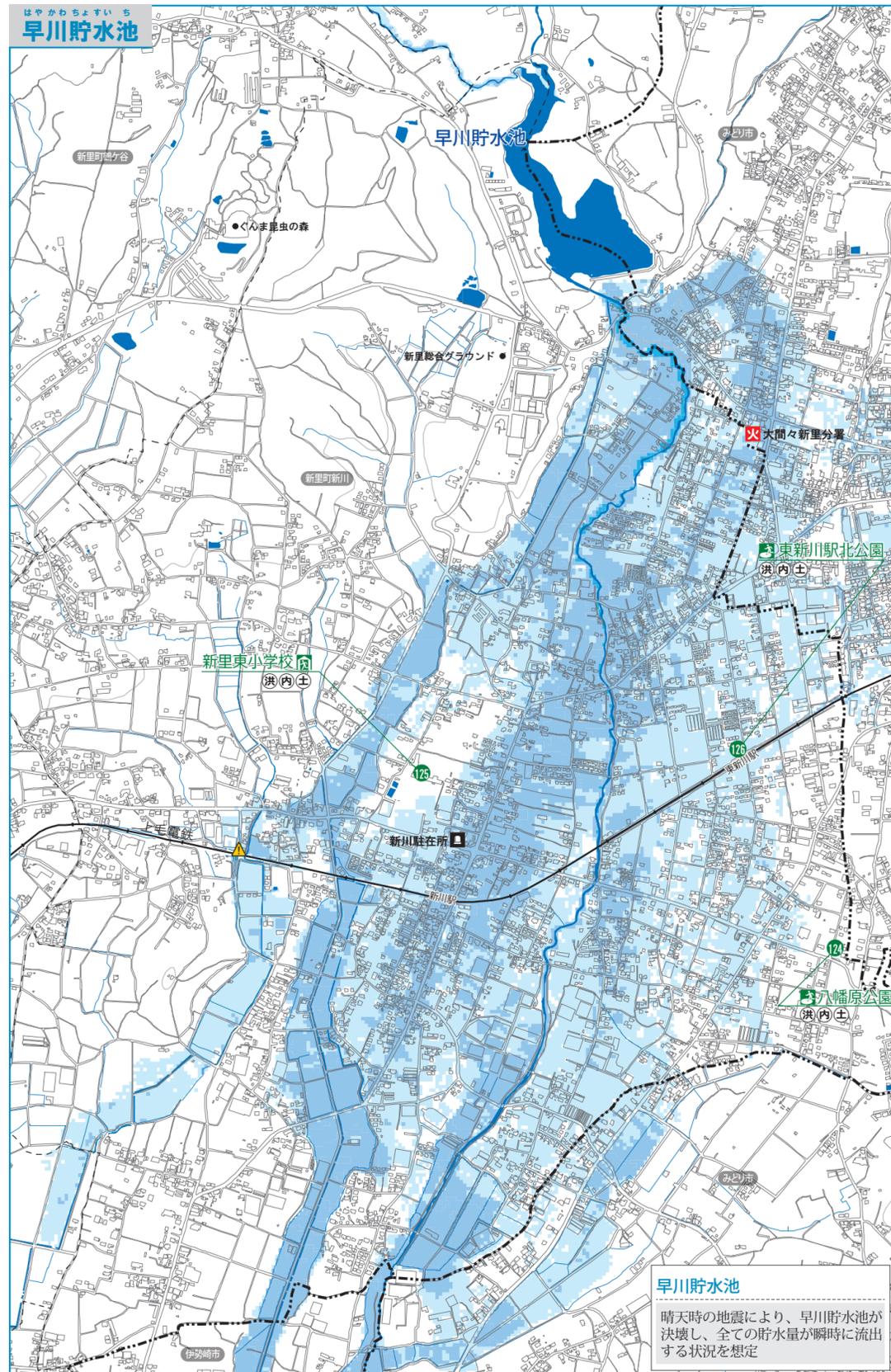
この計算結果は1つのシナリオに過ぎません

マップで示したものはあくまで1つのシナリオです。色がついていない場所では災害が起こらないということではありません。



この計算結果は1つのシナリオに過ぎません

マップで示したものはあくまで1つのシナリオです。色がついていない場所では災害が起こらないということではありません。



ご存知ですか？

大きな被害を受けたカスリーン台風

当時を経験した人が少なくなり、災害の記憶も薄れつつありますが、桐生市でも渡良瀬川や桐生川の氾濫により、大きな洪水被害を受けました。

昭和22年9月のカスリーン台風は、関東地方に記録的な豪雨をもたらしました。

桐生市でも、渡良瀬川や桐生川のおちこちで川の水があふれ出し、堤防が決壊し、市街地は浸水しました。新川に流れ込んだ水は橋を壊し、家屋を押し流して市民を襲うなど、桐生市内全戸の63%が浸水被害を受け、また多くの死者・行方不明者を出した大水害でした。

流失・倒壊で家を失った子供[桐生市内]

空から見た桐生市の被害

水害から約2ヶ月後(昭和22年11月)

速い流れで多くの建物が被害

倒壊した新川グラウンドのスタンド[稲荷町]

桐生川沿いに走る両毛線の被災状況[境野町]

地図上の白い部分は新川に流れ込んだ渡良瀬川の氾濫の跡



流失寸前で難を逃れた新川沿いの住宅[巴町]



中通りに堆積した土砂の山[浜松町]

桐生市内全戸の63%が浸水の被害に

災害時の連絡先

行政機関

桐生市役所	0277-46-1111	桐生市消防本部	0277-47-1700
新里支所	0277-74-2211	桐生市消防署	0277-47-1705
黒保根支所	0277-96-2111	桐生警察署	0277-43-0110
桐生厚生総合病院			0277-44-7171
群馬県土木整備部桐生土木事務所			0277-53-0121
群馬県環境森林部桐生森林事務所			0277-52-7373
国土交通省関東地方整備局渡良瀬川河川事務所桐生出張所			0277-44-3724
国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所桐生国道維持出張所			0277-76-2523

ライフライン

桐生市水道局	0277-46-1111
NTT 東日本群馬支店(お客さま相談センター)	0120-019000
東京電力(株)(コンタクトセンター)	0120-995-007
桐生瓦斯株式会社	0277-44-8141

気象・交通情報

気象庁	177	JR 東日本(お問い合わせセンター)	050-2016-1600
前橋地方気象台(自動応答サービス)	027-223-2280	上毛電気鉄道	027-231-3597
おりひめバス(桐生市共創企画部広域連携推進室)	0277-46-1111	東武鉄道(お客さまセンター)	03-5962-0102
日本道路交通情報センター	050-3369-6666	わたらせ渓谷鉄道	0277-73-2110
日本道路交通情報センター(携帯短縮ダイヤル)	#8011		

情報の入手方法



インターネットで調べる

テレビ・ラジオ等での調べ方については8-9ページに掲載

桐生市ホームページ 防災情報、気象情報など
URL <https://www.city.kiryu.lg.jp>

前橋地方気象台 気象情報・注意報・警報など
URL <http://www.jma-net.go.jp/maebashi/>

群馬県防災ポータルサイト 県の注意報・警報など
URL <https://gunma.secure.force.com>

気象庁 降水の短時間予報・洪水警報の危険度分布・台風情報・地震情報など
URL <https://www.jma.go.jp>

国土交通省川の防災情報 河川の水位観測データ・最新の雨量情報など
URL <https://www.river.go.jp>

国土交通省防災情報提供センター 全国の防災情報、河川情報、気象情報など
URL <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho>

安否確認用の伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくくなります。「災害用伝言ダイヤル171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。



災害用伝言板

NTT 及び携帯電話会社各社が提供する「災害用伝言板」は、災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

Web 171 (NTT)
URL <https://www.web171.jp>

ソフトバンク/Y!mobile
URL <http://dengon.softbank.ne.jp>

NTT docomo
URL <http://dengon.docomo.ne.jp>

au (KDDI)
URL <http://dengon.ezweb.ne.jp>

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT 及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

家屋の浸水

を軽減しましょう

洪水時に水深が浅い場合には、家屋への浸水を防ぐために出入り口や床下の浸水対策が有効です。また、浄化槽の浸水対策や側溝、排水溝等の清掃も効果的です。

CHECK ▶

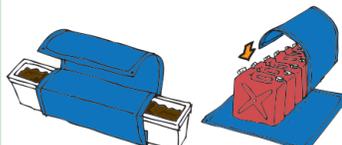
ゴミ袋による簡易水のう

40リットル程度の容量のゴミ袋を二重にして、中に半分程度の水を入れて閉めます。これをダンボール箱に入れ、連結して使用します。



ポリタンク・プランターとレジャーシートを利用した方法

ポリタンクに水を入れ（プランターには土を入れ）、レジャーシートで巻き込み、連結して使用します。



止水板

出入口に長めの板などを設置し、浸水を防ぎます。



洗濯機・風呂などの排水口やトイレからの逆流防止

排水口からの逆流を防止するため、水を入れたビニール袋でふさぎましょう。また、トイレの便器の中にも入れておくと、逆流を抑えられます。



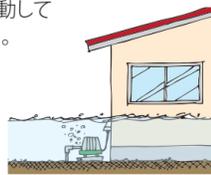
浴槽の水は貯めておきましょう

下水の逆流防止、生活用水としての利用、下流地域の水位低減などの利点があります。



ブローア（浄化槽ポンプ）の電源を切っておきましょう

感電や火災発生の恐れがあるので、電源を切っておきましょう。また、高い所に移動しておきましょう。



浄化槽のフタがしっかりと閉まっているか確認しましょう

大量の土砂や泥が浸入しないように、浄化槽のフタをしっかりと閉めておきましょう。被害を最小限にとどめることができます。



側溝や排水溝の清掃をしましょう

普段から、側溝や排水溝の掃除をして、水はけを良くしておきましょう。



家財の被害

を軽減しましょう

水に浸かってしまった家財は一瞬にしてゴミとなってしまいます。大切なものや高価なものを高い場所へ移動するなど、できる限りの家財被害の軽減を図りましょう。

CHECK ▶

大切なものは高い場所へ

通帳・保険証・パスポート等の重要書類や移動できる家電製品、思い出のアルバムなどは、浸水しない高い場所に移動しておきましょう。



自家用車や農業機械は早めに安全な場所へ

河川堤防の上や道路への移動は、緊急車両等の通行の妨げになるのでやめましょう。移動が困難な場合は、エンジン部分の浸水だけでも防ぎましょう。



事業所等では、高価な機械などを早めに安全な場所へ

水没してしまうと故障してしまう高価な機械や精密機械などは、浸水しない高い場所に移動しておきましょう。



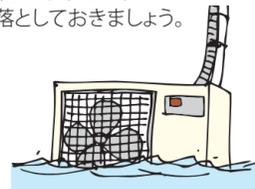
置は高い場所へ

置は高い場所へ移動しておきましょう。移動が困難な場合は、食卓などの上に乗せておくだけで、置の浸水を防ぐことができる場合があります。



ブレーカーを落としておきましょう

エアコンの室外機や配線類から漏電の危険性があるため、ブレーカーは落としておきましょう。



非常持ち出し品 を準備しておきましょう

すぐに避難できるように最低限必要なものを非常持ち出し品として準備しておきましょう。非常持ち出し袋には、両手の空くリュックサックが便利です。重すぎないかどうか、背負ってみましょう。



CHECK ▶ 非常持ち出し袋（リュックサックなど）に入れておくもの

- 非常食
- タオル・ティッシュ
- 携帯トイレ
- 貴重品（財布・お金（公衆電話用に10円玉）・通帳・印鑑・健康保険証（コピー）など）
- 筆記具（油性ペン）
- 乾電池・充電器類
- 常備薬・生理用品
- 携帯ラジオ
- 簡易食器（割り箸、紙皿）
- めがね・コンタクトレンズ
- 家族の写真
- 飲料水
- 着替え
- ビニール袋
- 防寒具・雨具
- 補聴器

CHECK ▶ 枕元に置いておきたいもの

- 運動靴・スリッパ
- 防寒靴
- 軍手・手袋
- 笛
- 携帯電話
- 懐中電灯
- 非常持ち出し袋（リュックサックなど）

CHECK ▶ あると便利なもの

- ウェットティッシュ
- マスク
- 床に敷くシート
- 大きめのゴミ袋
- 使い捨てカイロ
- 工具
- ヘルメット
- 布粘着テープ
- 桐生市水害ハザードマップ（この冊子）

備蓄品 を準備しておきましょう

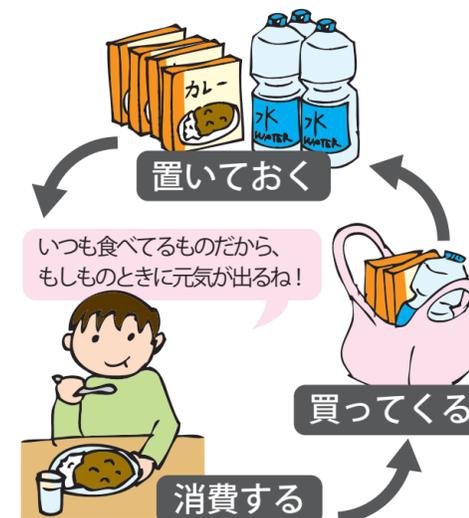
避難所の備蓄品には限りがあります。また、災害発生から数日は、普段通りに買い物ができないことが考えられますので、自分や家族の生活必需品を日頃から十分準備しておくとう安心です。

CHECK ▶ 備蓄品

- 日頃の買い置き 保存性のよい食料や水を買って置き、消費したら買い足す
- 3日以上以上の食料（できれば7日分） 缶詰、レトルト食品、栄養補助食品、お菓子、調味料、スープなど
- 水 大人1人当たり1日3リットル
- 燃料 カセットコンロ、カセットガス、固形燃料
- 缶切り ラップ
- 簡易トイレ トイレトペーパー
- 毛布・寝袋 洗面用具

CHECK ▶ 家族構成によって必要なもの

- | | | | |
|-------|----------------------------|--------|------------------------|
| 乳 幼 児 | 離乳食、粉ミルク、おむつ、おしりふきなど | 高 齢 者 | 入れ歯、介護食、大人用おむつなど |
| 妊 婦 | 母子健康手帳、脱脂綿、ガーゼ、タオル、新生児用品など | 疾患のある方 | 主治医連絡先、持病薬、お薬手帳、ストマなど |
| | | ペ ッ ト | リード、ケージ、排せつ用品、ペットフードなど |



どうなる

どうする

考える・備える

水害時の3つの避難をいまから考えておきましょう

避難先を決めて書き込もう！



避難1

早い段階で安全な場所へ

「高齢者等避難」や「避難指示」を聞いた場合には、被害の可能性の低い地域へ早めに避難しましょう。

逃げどきマップで確認し記入

あなたの早い段階での避難先

例えばどんなところへ？

- ◎ 最寄りの指定避難場所
(洪水時利用可能な避難場所)
- ◎ 町会で指定した避難場所
- ◎ 約100年に一回の大雨でも浸水するおそれがある地域の外

時間や体力に余裕があるとき

避難2

可能な限りより安全な場所へ

避難が可能な限り、浸水や土砂災害のおそれがない安全な場所まで避難しましょう。

逃げどきマップで確認し記入

あなたの可能な限り安全な避難先

例えばどんなところへ？

- ◎ 指定避難場所 (最大の大雨でも洪水時利用可能な避難場所)
- ◎ 最大の大雨で浸水するおそれがある地域 外の親戚・友人宅 など

避難3

逃げ遅れたら高い場所へ

浸水の中を歩くことは危険です。浸水の中を避難しなければならない場合や浸水が迫ってきた場合は、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

逃げどきマップで確認し記入

あなたの逃げ遅れたときの避難先

例えばどんなところへ？

- ◎ 自宅の高いところ
- ◎ 指定避難場所に限らず、最寄りの高い建物や高い場所

家族が離ればなれになったときの集合場所や連絡方法を考えておきましょう



家族で決めた集合場所

Blank area for writing the family meeting place, with a pencil icon and a list of five circles on the right.

家族で決めた連絡方法

Blank area for writing the family communication method, with a pencil icon and a list of five circles on the right.

家族・親戚・知人の緊急連絡先

名前	メモ(職場、学校、屋間の避難先)
電話番号	
名前	メモ(職場、学校、屋間の避難先)
電話番号	
名前	メモ(職場、学校、屋間の避難先)
電話番号	
名前	メモ(職場、学校、屋間の避難先)
電話番号	
名前	メモ(職場、学校、屋間の避難先)
電話番号	

本書に掲載した地図の一部は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号平29情使、第925号)
 本書に掲載した地図の一部は、「国土数値情報(河川データ、緊急輸送道路、鉄道、土砂災害危険箇所、市町村役場、警察署、消防署、観光資源)国土交通省」を使用した。